



平成22年1月13日

各 位

会社名：株式会社キューソー流通システム
代表者名：代表取締役社長 八木 博
(コード番号 9369 東証第一部)

問合せ先：取締役執行役員管理本部長 一瀬 治郎
(TEL. 042-441-0711)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、このたび平成22年度（平成22年11月期）から平成24年度（平成24年11月期）までの3ヶ年中期経営計画を策定いたしました。その概要は以下の通りであります。

I. 基本方針

今後3カ年においては、少子高齢化による国内市場の低迷、異業種からの参入等による競合関係の激化、地域間経済環境格差の拡大といった厳しい外部環境が予想され、当社グループでは、グループの構造改革を行う3年間と位置付けております。テーマは、**(1)物流品質の向上**、**(2)収益体質の改善**、**(3)成長分野へのシフト**としており、3年後には、食品物流企業として、「明るく働きがいのある職場」、「得意先にパートナーとして選ばれる」「社会に最も貢献している」「将来に挑戦権を有している」状態になっていることを目指します。結果として、競争力を高め長期的成長が図られ、利害関係者に対する企業価値の最大化を図っていけると考えております。

II. 計画の要旨

当社グループを取り巻く厳しい外部環境の下、当社グループは全国を網羅する4温度帯の物流ネットワーク及び幅広い顧客基盤といった強みを有する半面、そのネットワークが国内市場向けに傾斜している弱みがあります。人的資源の強化を進めるとともに、物流機能を再構築することで収益力・競争力の強化及び専用物流や輸入貨物といった成長分野への対応力を強くしてまいります。

具体的には、以下の6つを戦略軸に戦略を具体化し、目標を達成してまいります。

「戦略軸と主な戦略」

①業務の標準化の定着

標準作業の設定と品質基準の明確化、料金体系の見直し

②専用物流と輸入貨物取扱への資源投下

専用物流向け新情報システムの開発、異業種企業との連携

③運送機能の再構築

地方TC機能の拡充、配車機能の再構築

④保管機能の再構築

拠点ネットワークの再構築、小口化に対応した荷役作業体制の構築

⑤情報系システムの構築

収益管理システムの強化

⑥人材育成・活用の強化

Ⅲ. 数値目標

具体的な数値目標は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	H21(実績)	H24(計画)	H21年対比
営業収益(売上高)	135,381	138,000	101.9%
営業利益	1,523	2,300	151.0%
経常利益	1,546	2,300	148.7%
当期純利益	371	800	215.6%
ROE (自己資本当期純利益率)	1.5%	3.3%	—
ROA (総資産経常利益率)	2.7%	4.1%	—

以 上